

目次

安全	1
電気に関する安全	1
インストールに関する安全	1
クリーニングに関する安全	1
LCD モニターに関する特別な注意	2
パッケージの内容	2
取り付けに関する注意事項	3
設置	3
取り付け	3
外部コントロール	4
画像調整	5
画面調整	7
付属部品	8
プラグアンドプレイ	8
パワーセーバー	8
トラブルシューティング	8
技術仕様	9
ディスプレイモード	10

安全

電気に関する安全 注：ユーザーの安全を確かなものにし製品の寿命を延ばすために、初めて製品を使用する前に、次の安全に関する推奨をよくお読みください。

- モニタ内部に触れないでください。資格のある専門技術者しか LCD モニターのケースを開けることはできません。
- プラグをソケットに差し込むときは、（電源ケーブルではなく）プラグを持ってください。手が濡れていないことを確認してください。
- この製品は、マーキングラベルに示された電源のタイプでのみ操作する必要があります。使用できる電源のタイプが分からない場合、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。
- この製品には、3 芯プラグ（三番目のアース用ピンが付いたプラグ）が付属していません。このプラグは、アースされたコンセントにだけ適合します。コンセントにアースされたプラグが挿入できない場合、電気技術者に正しいコンセントを取り付けてもらってください。アースされたプラグの代わりに 2 芯アダプタを使用しないでください。
- LCD モニターを水気のあるところ、またはキッチンや水泳プールなど、高温高湿になる環境で使用しないでください。水の入った花瓶も危険です。
- LCD モニターが以上動作を起こした場合（つまり、煙、騒音、異臭が出た場合）、直ちにプラグを抜き、正規代理店またはサービスセンターにご連絡ください。

インストールに関する安全

- 指や固い物体で LCD モニタに触れないでください。ディスプレイ表面を傷付けたり、油を残さないでください。
- LCD モニターを保護するために、換気が良く、湿気と埃がない場所に取り付けるようにしてください。
- LCD モニターを熱源（つまり、オーブン、ストーブ、火のある場所、加熱炉、直射日光の当たる場所）の傍に取り付けしないでください。
- 感電や落とす危険があるため、LCD モニターは子供の手の届かない場所に取り付けてください。LCD モニターをしっかりと固定し、必要に応じて、安全に関する規則を子供に説明してください。
- LCD モニターを取り付けているとき、またはその角度を調整しているとき、積載能力と LCD モニターを支える構造の水準測定に注意を払う必要があります。

クリーニングに関する安全

- LCD モニターやそのケースに洗剤や水を吹きかけないでください。
- LCD モニターをクリーニングするときは、液体が LCD モニター内部またはアクセサリに染み込んでいないことを確認してください。
- 清潔で柔らかい布を水や、アルコールを含まないガラスクリーナーで濡らします。しっかりと絞り、LCD モニターの表面をそっと拭いてください。ディスプレイのクリーニング専用の絹の布を使用することをお勧めします。

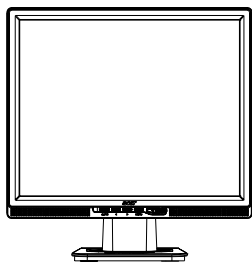
LCD モニターに関する特別な注意

次の症状はLCDモニターの特性で、デバイスの問題を示すものではありません。

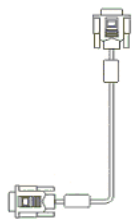
- 蛍光灯の特性により、初めて使用する場合画面がちらつくことがあります。電源スイッチをオフにしてから再びオンにすると、ちらつきが消えます。
- ご使用のデスクトップのパターンによっては、画面の明るさにむらが出る場合があります。
- LCD 画面には、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の（画素欠けや、常に点灯する画素によって引き起こされる）欠陥を含む場合があります。
- 同じ画像が何時間もぶっ続けで表示されていると、新しい画像に切り替えた後古い画像の残像が残ることがあります。この症状が発生した場合、画像を変更することで画面はゆっくりと回復します。LCD モニターを数時間オフにしても、この問題を修正できます。

パッケージの内容

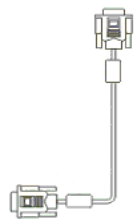
LCD ディスプレイ
(スピーカー搭載)



D-Sub 信号ケーブル



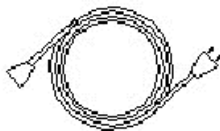
DVI 信号ケーブル
(オプション)



クイックスタートガイド



電源ケーブル



オーディオケーブル



ユーザーズガイド(CD)



取り付けに関する注意事項

設置

注：取り付けを開始する前に、安全に関するセクションをよくお読みください。

LCDモニターを取り付けるとき、モニターの設置を考慮してください。

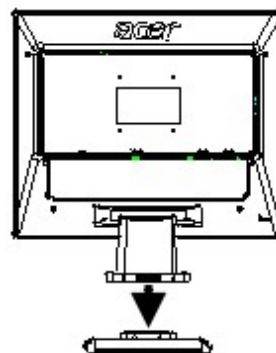
- ・ モニターの反射を最小限に抑え、目を保護し、高い品質を確保するために、LCDモニターを窓の傍や逆光の当たるところに取り付けしないでください。モニターは目から30 cm 以上離すようにしてください。
- ・ モニターの上縁が視線より少し上にくるようにします。
- ・ ディスプレイを楽に見ることができるよう、モニターの傾斜角度を前後に調整してください。

取り付け

台をモニターに接続する

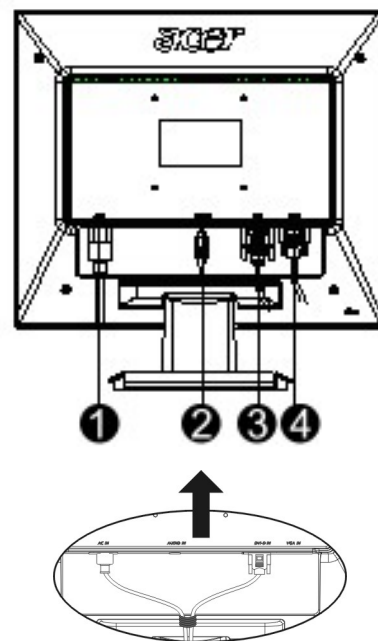
台を箱から取り出して、平らなテーブルに置きます。

- ・ モニターを台の上に設置します。
- ・ 台を、溝に沿ってモニターのネック部分に接続します。
- ・ 台とモニターが正しく接続されると、クリック音が聞こえます。



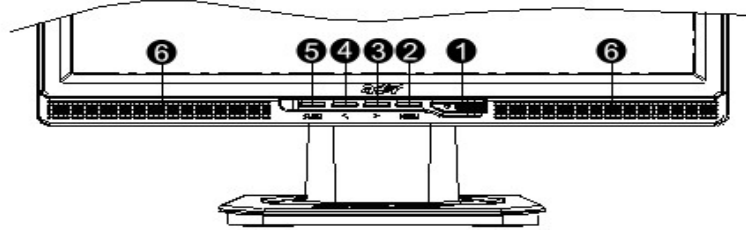
LCDモニターをPCに接続する


- ・ PCの電源装置がオフになっており、電源プラグが取り外されていることを確認してください。
- ・ 信号ケーブルの両端をPCホストとLCDモニターにそれぞれ接続し、締め付けます。
- ・ LCDモニターにスピーカーが内蔵されている場合、PCのサウンドカード出力からモニターに取り付けられたオーディオケーブルを、LCDモニター背面のオーディオ入力に接続します。
- ・ 添付の電源ケーブルをLCDモニターに接続します。
- ・ 電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
- ・ ケーブルタイを使用して、電源コードとD-sub信号ケーブル / DVI-Dケーブルを束ねます。
- ・ PCとLCDモニターの電源装置をオンにします。



- ① 電源ケーブル
- ② オーディオケーブル
- ③ DVI 信号ケーブル (オプション)
- ④ D-Sub 信号ケーブル

外部コントロール

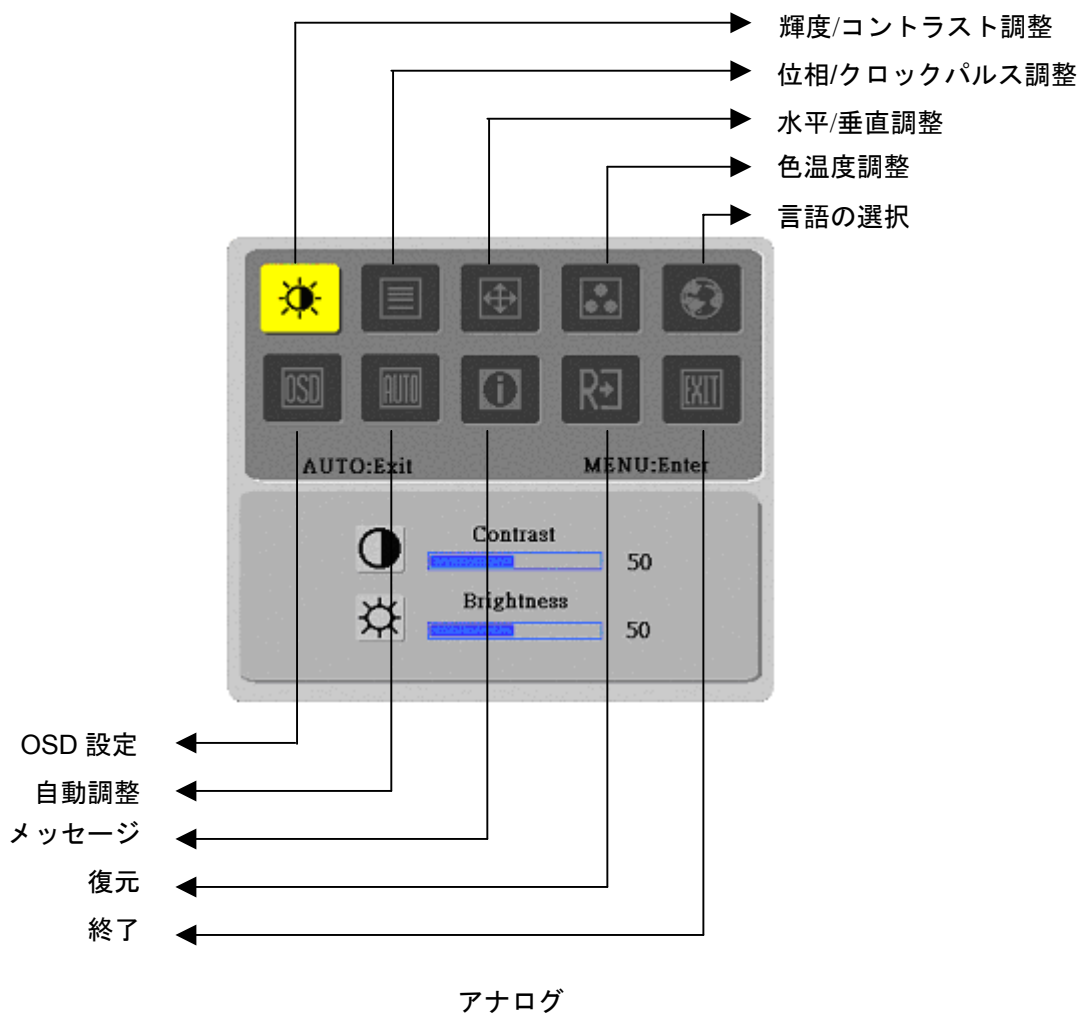


1		電源	電源オン/オフ 緑のランプ: 電源がオンで、正常に作動しています。 オレンジのランプ: 省電力モードでスリープ状態です。 無色のランプ: 電源はオフになっています。
2	メニュー	OSDメニュー	このボタンを押すとOSDに入ります。もう一度押すとOSDを終了します。
3	>	プラス	このボタンを押すと、OSDを起動しているとき選択または調整を行えます。
4	<	マイナス	このボタンを押し、<と>をクリックすると、OSDを起動していないときに音量を調整できます（スピーカー搭載モデルのみ）。
5	自動	自動調整	OSDを起動しているとき、このボタンを押すとマニュアルを終了します。 OSDを起動しているときに、ディスプレイに対してこのボタンを押すと、位置、位相、クロックパルスが自動的に最適化されます。
6	スピーカー	(スピーカー搭載モデル用)	

アナログの場合の 画像調整

LCDモニターの画像設定は、出荷前にアナログテレビに対して最適の状態に調整されています。(9ページ参照)。お好みに合わせて画像設定を調整するには、次の手順に従ってください。

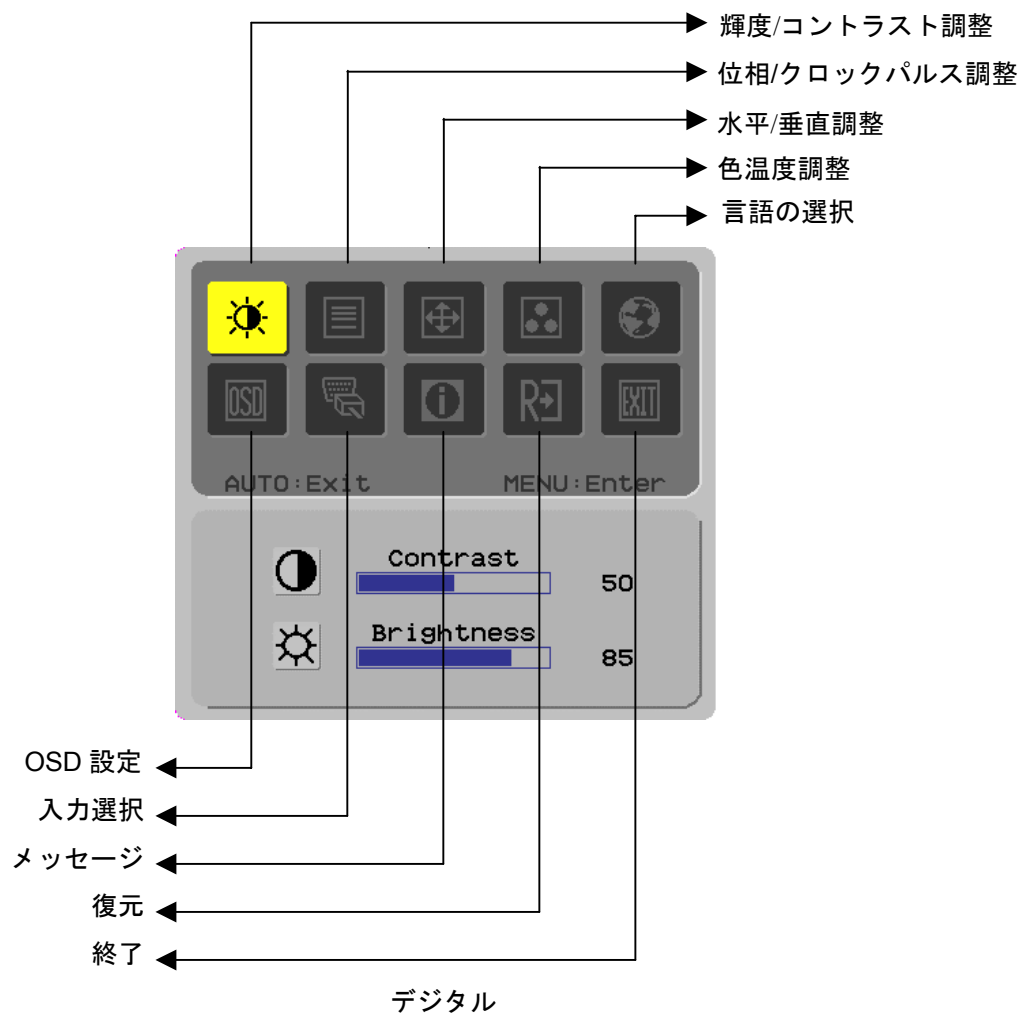
1. メニューをクリックすると、次の図に示すようにOSDウィンドウが表示されます。
2. プラスまたはマイナスをクリックして、次の図に示すように調整される機能を選択します。
3. 調整する機能を選択するには、メニューをもう一度クリックします。
4. プラスまたはマイナスをクリックして、現在の設定を変更します。
5. OSDウィンドウを終了するには、「EXIT」を選択し、変更を保存して閉じます。他の設定を変更するには、手順2-4を繰り返します。



デジタルの場合の 画像調整






















LCDモニターの画像設定は、出荷前にデジタルテレビに対して最適の状態に調整されています。(9ページ参照)。お好みに合わせて画像設定を調整するには、次の手順に従ってください。

1. メニューをクリックすると、次の図に示すようにOSDウィンドウが表示されます。
2. プラスまたはマイナスをクリックして、次の図に示すように調整される機能を選択します。
3. 調整する機能を選択するには、メニューをもう一度クリックします。
4. プラスまたはマイナスをクリックして、現在の設定を変更します。
5. OSDウィンドウを終了するには、「EXIT」を選択し、変更を保存して閉じます。他の設定を変更するには、手順2-4を繰り返します。



画面調整

機能の定義

1次ディレクトリの記号	2次ディレクトリの記号	2次ディレクトリの項目	説明
		コントラスト (Contrast)	画面の画像の前景と背景間のコントラストを調整します。
		輝度(Brightness)	画面の背景の明るさを調整します。
		位相(Phase)	画像のフォーカスを調整します。 (アナログ入力調整専用)
		クロックパルス (Clock Pulse)	画像のクロック位相を調整します。 (アナログ入力調整専用)
		水平(Horizontal)	画像を画面の左または右に移動します(アナログ入力調整専用)。
		垂直(Vertical)	画像を画面の上または下に移動します(アナログ入力調整専用)。
	該当なし	暖色温度(Warm Color Temp.)	色温度を温白色に設定します。
	該当なし	寒色温度(Cold Color Temp.)	色温度を冷白色に設定します。
		ユーザー定義/赤 (User Definition/Red)	赤/緑/青取得を調整します。
		ユーザー定義/緑 (User Definition/Green)	
	ユーザー定義/青 (User Definition/Blue)		
	該当なし	English	希望の言語の選択に使用されます。
	該当なし	繁體中文	
	該当なし	Deutsch	
	該当なし	Français	
	該当なし	Español	
	該当なし	Italiano	
	該当なし	简体中文	
	該当なし	日本語	
	該当なし	Hollands	
	該当なし	Suomalainen	
該当なし	Русский		
		水平(Horizontal)	OSD を左または右に移動します。
		垂直(Vertical)	OSD を上または下に移動します。
		OSD 時間ディスプレイ (OSD Time Display)	OSD 時間ディスプレイ設定を調整します。
	該当なし	自動調整 (Auto Adjustment)	水平、垂直、連続、フォーカスを自動的にセットアップします (アナログ入力専用)。
	該当なし	アナログ(Analog) デジタル(Digital)	希望の入力ソースの選択に使用されます (DVI 入力専用)。
	該当なし	メッセージ (Message)	現在の入力タイミング機能で使用する解像度、水平/垂直周波数、入力ポートを表示します。
	該当なし	復元(Restore)	システムを初期設定に復元します。
	該当なし	終了	OSD ウィンドウを閉じ、変更を保存します。

付属部品

- プラグアンドプレイ**
- 製品には最新の VESA **プラグアンドプレイ**が組み込まれているため、複雑で時間のかかる手順を避けることができます。**プラグアンドプレイ**機能では、コンピュータシステムが LCD モニターを簡単に識別し、その機能を自動的にセットアップします。
 - LCD モニターは DDC (**ディスプレイデータチャンネル**) 経由でコンピュータに EDID (**拡張ディスプレイ識別データ**) を転送するため、コンピュータは LCD モニターの自己設定機能を使用できます。
- パワーセーバー**
- LCD モニターには、電源ことロースシステム (パワーセーバー) が組み込まれています。
 - LCD モニターが一定時間操作されないと、電源コントロールシステムが低電圧状態にシステムを設定して電力を節約します。マウスをわずかに動かすか、どれかのキーを押すと正常操作に戻ります。
 - パワーセーバー機能は、コンピュータシステムのディスプレイカードによってのみ操作できます。コンピュータからこの機能をセットアップできます。
 - LCD モニターは、VESA DPMS と共に使用されているとき、EPAENERGY STAR NÜTEK と互換性があります。
 - 電力を節約し製品の寿命を延ばすために、長時間アイドルになっている場合または使用されていないときは、LCD モニターの電源装置をオフにしてください。
- トラブルシューティング**
- 電源LEDが点灯しない**
- 電源スイッチがオンになっているかどうか、確認してください。
 - 電源ケーブルが接続されていることを確認します。
- アイコンがオフ**
- 電源スイッチがオンになっているかどうか、確認してください。
 - 電源ケーブルが接続されていることを確認します。
 - 信号ケーブルがコンセントに正しく挿入されていることを確認します。
 - 操作中、パワーセーバーはモニターを自動的にオフにします。キーボードからどれかのキーを押すと、モニターが復元されることを確認します。
- 色の既定値**
- RGB カラーを調整するには、または色温度を選択するには、「色温度の調整」を参照してください。
- 不安定または波ができる**
- EMI 障害を引き起こしていると思われる近くの電子機器を、取り去ってください。
 - モニターの信号ケーブルを確認し、曲がっているピンがないことを確認します。
- 画像がオフセットまたは間違ったサイズ**
- 自動調整ボタンを押し、画面を自動的に最適化してください。
 - 参照位置をセットアップしてください。

技術仕様

LCD パネル (バックライト ソース)	パネルの寸法	対角 510.3 mm(20.1 inch)の LCD モニター
	最大解像度	1,400 x 1,050 / SXGA
	最大画素	最大 1620 万色のトゥルーカラー
	画素スパン	水平 0.291mm x 垂直 0.291mm
	輝度	300 cd/m ²
	コントラスト	600 : 1
	LC 応答時間	8 ms
	視覚	水平 150° / 垂直 130°
	有効ディスプレイ	水平 408.24 mm x 垂直 306.18 mm
入力信号	信号モード	シミュレートされたビデオ周波数: 0.7 Vpp, 75Ω (セパレート SYNC およびコンポジット SYNC)
	SYNC 周波数	水平 30 kHz – 82 kHz x 垂直 56 Hz – 76 Hz
	最大画素クロック	140MHz
入力端子	画像	D-Sub 15 ピン (VESA) / DVI-D (オプション)
	オーディオ	電話ジャック、d=3.5 mm (オプション)
電源トランス		AC100 – 240 V、50 – 60 Hz
消費電力		55 W / スタンバイ 1W / 電源オフ 1W
環境条件	温度	5° C – 35° C (動作時) / -20° C – 55° C (保管時)
	湿度	20% – 80% (動作時) / 20% – 85% (保管時)
実寸法 (幅 x 奥行 x 高)		538 x 158 x 470 mm
正味重量		5.3 kg
安全基準		TCO03;UL/CUL;T7V-GS;CE/LVD;T7V-ERGO;CB;CCC;FCC-B;VCCI-B; CE/EMC;C-Tick;BSMI;ISO 13406-2;EPA;PCT;NOM;WEEE;PSB;HG

ディスプレイモード PC システムの信号が次の参照信号モードのどれかと同じ場合、画面は自動的に調整されます。同じでない場合、画面は表示されないか、LED ライトだけが表示されます。調整モードに関する詳細については、ディスプレイカードの取扱説明書を参照してください。

ディスプレイモード		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	画素周波数 (MHz)	SYNC 極性 (H/V)
VESA	VGA 640x480	31.469	59.940	25.175	-/-
		37.861	72.809	31.500	-/-
		37.500	75.000	31.500	-/-
	SVGA 800x600	35.156	56.250	36.000	+/+
		37.879	60.317	40.000	+/+
		48.077	72.188	50.000	+/+
		46.875	75.000	49.500	+/+
	XGA 1024x768	48.363	60.004	65.000	-/-
		56.476	70.069	75.000	-/-
		60.023	75.029	78.750	+/+
	SXGA 1152x864	67.500	75.000	108.000	+/+
	SXGA 1280x1024	63.981	60.020	108.000	+/+
		79.976	75.025	135.000	+/+
SXGA+ 1400x1050	65.317	59.978	121.75	-/+	
VGA TEXT	720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
Macintosh	640x480	35.000	66.667	30.240	-/-
	832 x 624	49.725	74.500	57.283	-/-
	1024 x 768	60.150	74.720	80.000	-/-

安全上のご注意


ご使用前に必ずお読みください。


正しくお使いいただくことでお客様への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。



安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。



お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



「安全上のご注意」の絵表示





 警告	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
---	--









 注意	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
---	--




 注意	<p>この記号は、注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。</p> <p>例)  「感電注意」を表す絵表示</p>
---	---





 禁止	<p>この記号は禁止の行爲（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。</p> <p>例)  「分解禁止」を表す絵表示</p>
---	--

 厳守	<p>この記号は必ず行っていただきたい行爲を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。</p> <p>例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示</p>
---	--

警告 	
 厳守	<p>煙がでている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>改造・分解はしないでください。お客様による修理は行わないでください。火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。</p>
 水濡れ禁止	<p>本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸、水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。</p>

 厳守	<p>本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。</p>
 禁止	<p>本製品は下記のようなところで使用しないでください。故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほこりの多いところ ●振動や衝撃の加わる場所 ●不安定な場所 ●温度差の激しい場所 ●水分や湿気の多い場所 ●湿度が高い場所
 禁止	<p>ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●引っ張ったり、折り曲げたりしない ●圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ●加工しない ●熱器具のそばで使わない
 禁止	<p>ぶついたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。</p>
 厳守	<p>電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根元までしっかりさしてください。根元までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。</p> <p>電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行わないでください。濡れた手で行うと感電の原因になります。</p>
 厳守  注意  発火注意	<p>電源ケーブルを取り扱うときは以下のことにご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。 ●電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ●濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないでください。感電の原因となります。 ●電源ケーブルのプラグは根元までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してから行ってください。接触不良で火災の原因となります。

 厳守	<p>液晶パネルが破損した場合は、破損部分に直接素手で触れないでください。 もし触れてしまった場合は、手をよく洗ってください。 万一、破損部が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。</p>
 厳守	<p>モニタのリサイクルに関するお問い合わせは Acer までお願いいたします。 Acer に関するさらに詳しい情報はこちら http://www.acer.com/ のホームページをご覧ください。</p>
 厳守	<p>本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。</p>

注意 	
 注意	<p>長時間に渡って映像を見る場合は、一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。</p>
 注意	<p>液晶モニタ画面表面は擦り傷等がつきやすいので、ペン先や爪等で接触しないように注意してください。</p>
 注意	<p>本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。</p>